

平成 29 年（2017 年）の岩木山の火山活動

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2017 年の発表履歴

2017 年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）
-------------	-----------------------------

○ 2017 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

百沢東に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震および火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4、図 6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

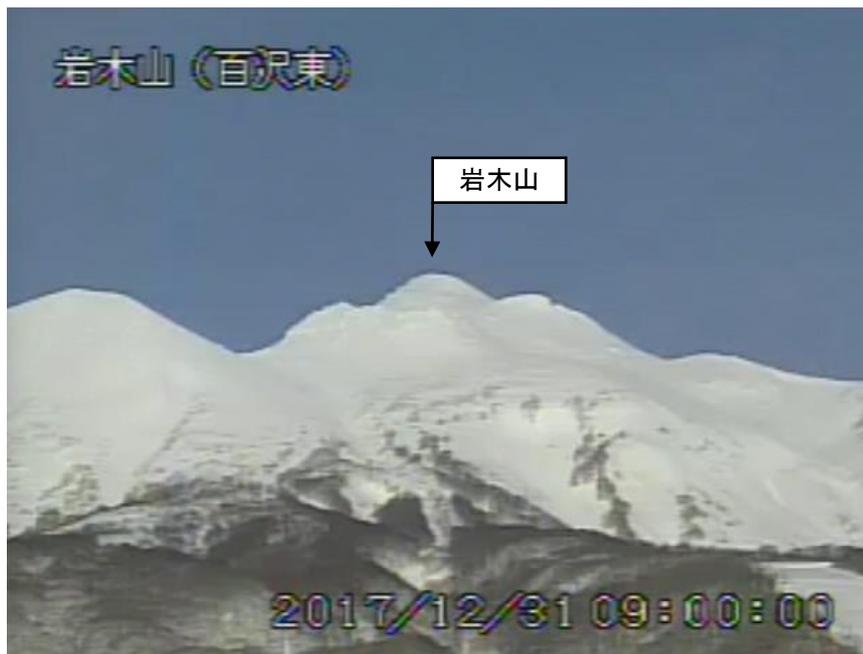


図 1 岩木山 山頂部の状況（12 月 31 日）

・百沢東（山頂の南東約 4 km）に設置している監視カメラの映像です。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。

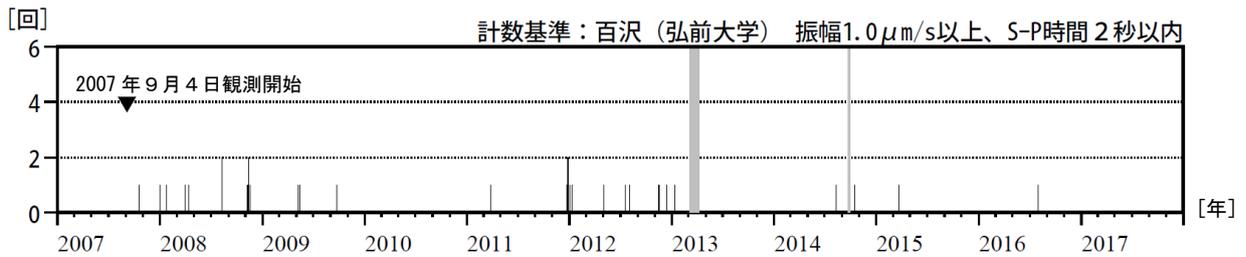


図2 岩木山 日別地震回数 (2007年9月~2017年12月)

・灰色部分は欠測を表しています。

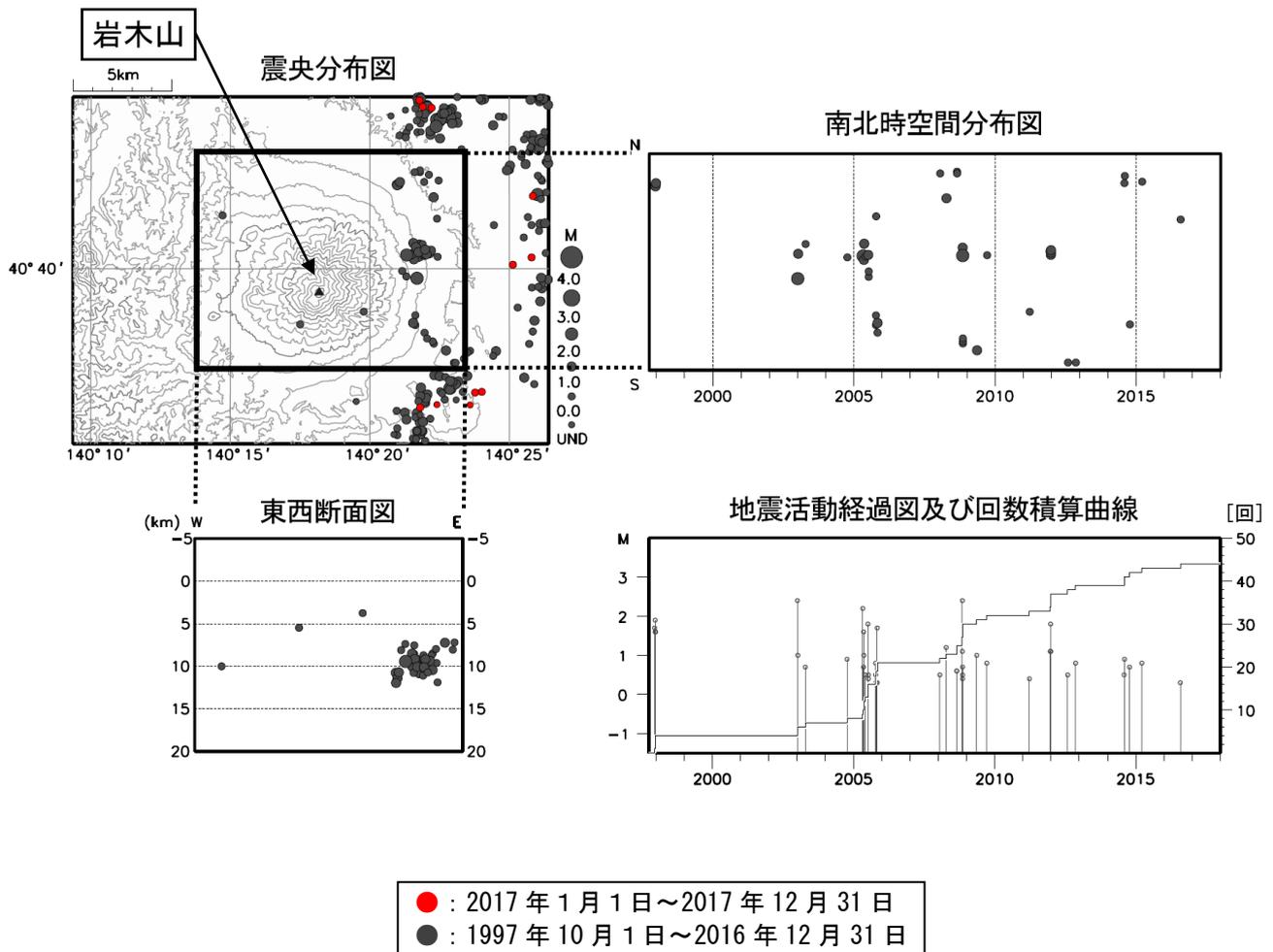


図3 広域地震観測網による岩木山周辺の地震活動図 (1997年10月~2017年12月)

注) 2001年10月以降、検知能力が向上しています。

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日修正することがあります。

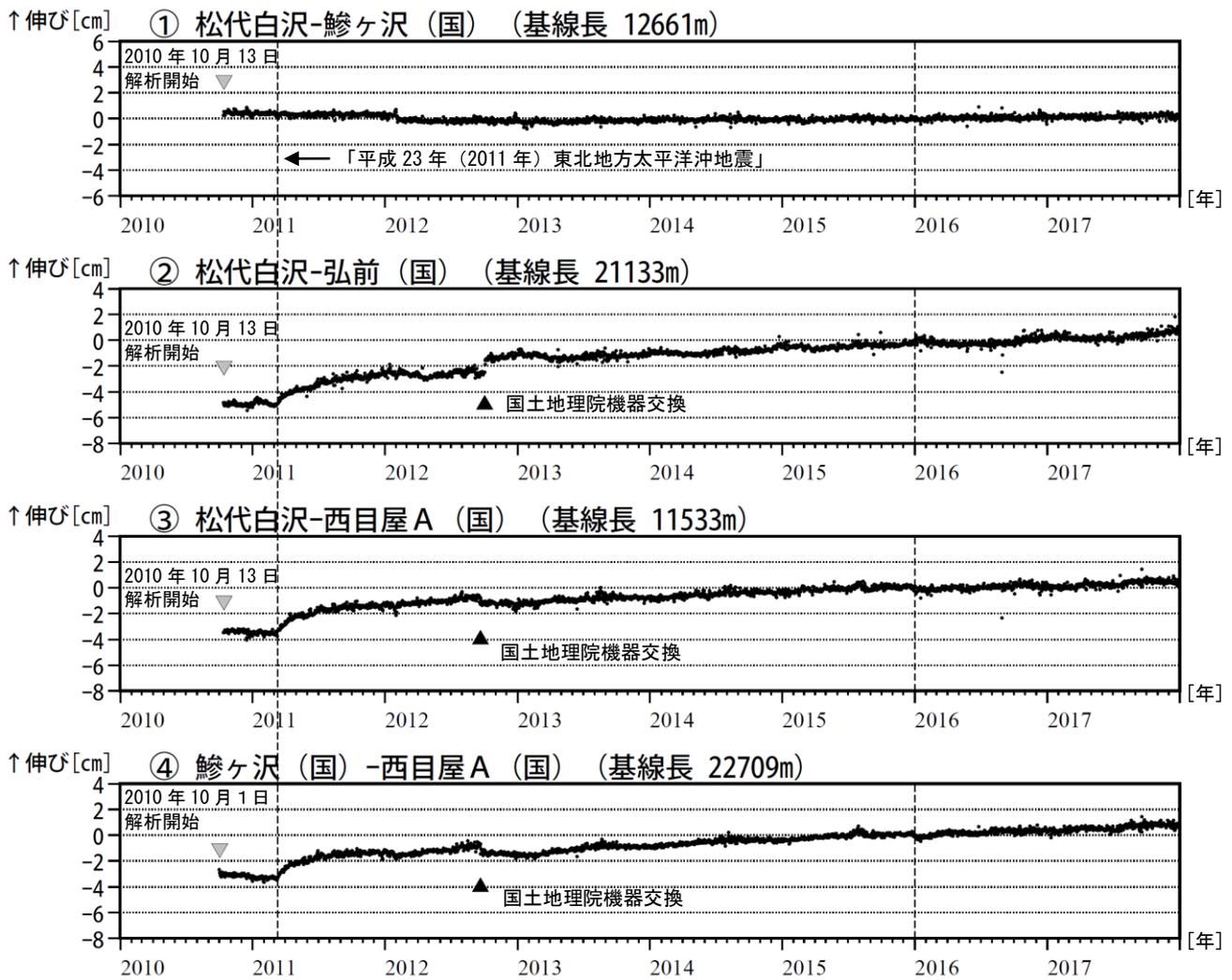


図 4 岩木山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2010 年 10 月～2017 年 12 月)

- ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～④は図 6 の GNSS 基線①～④に対応しています。
- ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
- ・ 2016 年 1 月以降のデータについては、解析方法を変更しています。

1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

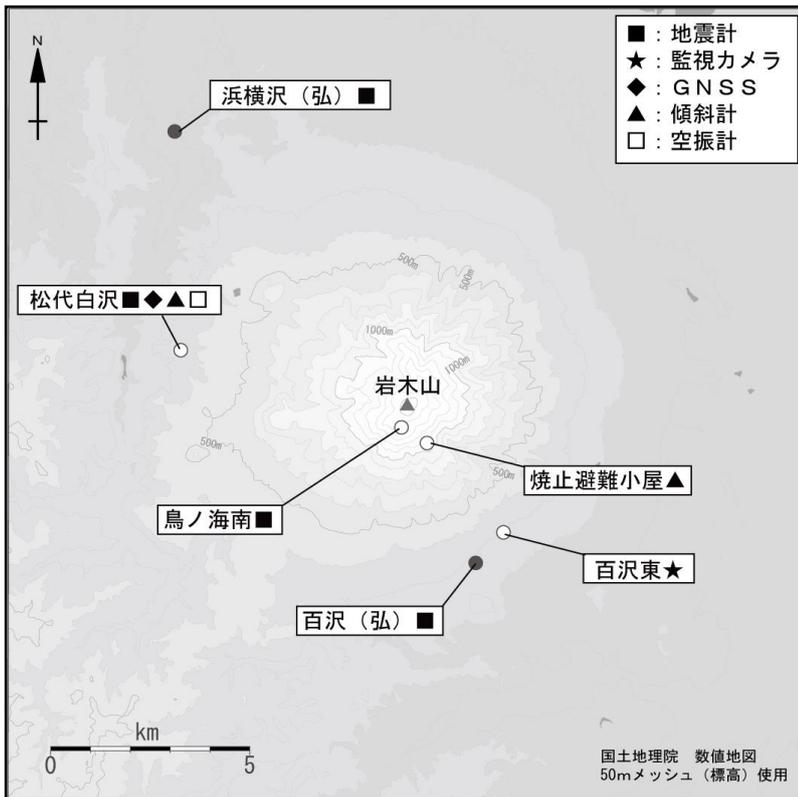


図5 岩木山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の
機関の観測点位置を示していま
す。
(弘) : 弘前大学

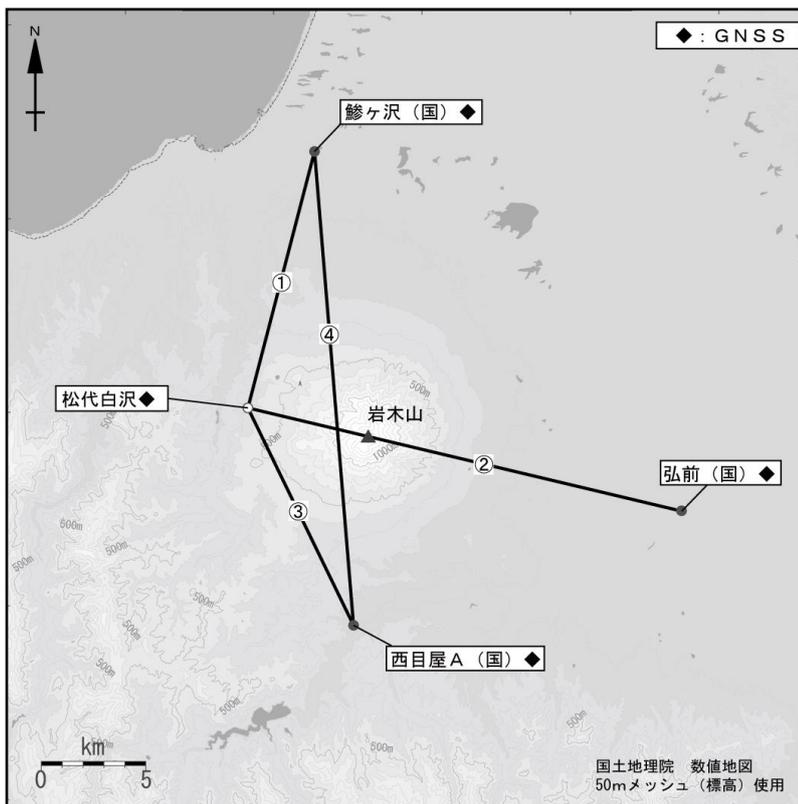


図6 岩木山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の
機関の観測点位置を示していま
す。
(国) : 国土地理院

表 1 岩木山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	松代白沢	40° 40.12'	140° 14.14'	364	-98	2010.9.1	短周期 3成分 ポアホール型
	鳥ノ海南	40° 39.06'	140° 18.07'	1500	-2	2016.12.1	広帯域 3成分
空振計	松代白沢	40° 40.1'	140° 14.1'	364	4	2010.9.1	
	松代白沢	40° 40.1'	140° 14.1'	364	-98	2011.4.1	
傾斜計	焼止避難小屋	40° 38.8'	140° 18.5'	1076	-15	2016.12.1	
	松代白沢	40° 40.1'	140° 14.1'	364	4	2010.10.1	2周波
GNSS	松代白沢	40° 40.1'	140° 14.1'	364	4	2010.10.1	2周波
監視カメラ	百沢東	40° 37.6'	140° 19.9'	315	5	2010.4.1	可視カメラ